fiction

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 真実　見たのは　お前の恥だった

お前の唇　じっと　ただ　見つめたまま

応えられるはずだった　分かり合えるはずだった
思い出は全ての先に　fiction

OH－　燃え上がってる　街の　景色を　捉えて
UH－　間違いじゃない　諦めないから

2、 大時計と　腕時計の　時間帯がずれている

直すのも面倒だし　壊れたら　もっと　嫌（や）だし

何で地球には時間がある？　きっと誰かが作ったのさ
なければ楽しいはずだったのに　action

OH－　最高さ　BABY おいしいコーヒーを飲んで
UH－　有り余る余暇（よか）　読書に回そう

OH－　もしかしたら　作曲などできなくなる
UH－　その時でいいじゃん　今を生き抜こうよ

ホタルノハカ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、赤く染まりゆく　その声を亡くしてはいけない　気がしてたよ

泣けるほど　愛してしまった
終わらない　最期の終戦
小さな　手のひらを　握り走った
幸せに　なれるように

赤く色づいてゆく鳥たちは　今　どこへと飛ぶ
愛をはぐらかせてゆく　その声は　今　空へと届く

２、この飴　舐めてごらん　喉の渇きを　少しでも潤せるなら

あの日　ホタルは点滅していた
人間は　全滅していた
湧き上がる　最期の空襲
戦争を知らない世代

街は防空壕に囲まれて　今　新たな予感が
新たなる戦争は考えないで　今を生きたい

その時が来たら　それまでだから
今を　大切に生き抜く

遠い昔　俺は　この場所で　せかせかと　奴隷として　働いてた
重たい　荷物を　背中に　背負って　いつの日か　幸せが来ること　祈ってた

裸のボクサー

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 むかし　俺はボクシングジムを訪ね
会長に言われるまま　練習を繰り返した
雨の日にも　練習は欠かさねえ
錆びた練習小屋で　一人　黙々と　シャドー

だから　パンチ　パンチ　燃え上がれ！
そこだ　パンチ　パンチ　隙をつけ！
そして　パンチ　パンチ　夢を見ろ！

そして　ジョーは　戦った
「必ず　チャンピオンに　なってやる！」

体が　Ah－　疼き出した　戦場はそこにある
激しい罵声に包まれた　悪役
自分の為　走るのだ　戦場はそこにある
斜め対角線の先に　奴がいる

2、 俺は　ジョーのようにはなれない
パンチ力がないと　厳しく　注意を受けた

だから　パンチ　フック　変えて行け！
そこだ　パンチ　フック　アッパー　コンビネーション
そして　バックハンドブロー　決めてみろ！
顔が　ボロボロになろうと…
「本当に　強くなるために！」

リングベルが　鳴り響いた　全ての力を出せ
「勝つ！」「勝つ！」「勝つ！」と　チャンピオンになるのを　夢見て
臆病は　俺だった　男は　ジョーだった
３ラウンド KO 勝ちをして　傷もない

優勝トロフィーを　抱えて　立ち去った

イカロスの十字架

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、Ah－　幼い日に　Ah－　おそれたうた　Ah－　思い出していた
Ah－　イカロスは　Ah－　翼をつけ　大空へ　羽ばたく

まっ赤な太陽に　近づいたその時
翼が焼かれて　イカロスは落ちてゆく

GRACE　もう　忘れないよ　あなたのことを
十字架の前　深く　誓った

GRACE　もう１度だけ　あの頃のままで
イカロスの音色を　聴いていたい

２、Ah－　幼い日に　Ah－　忘れていた　なくした　その翼

子供の頃に見た　寂しげな情景
あまりに哀しく　残酷に見えていた

GRACE　鳴り響いている　教会の鐘が
揺れる心に　深く　残った
GRACE　神様よ　今　全てを教えて
イカロスはあの日に　何をしたの？

大地

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、１人きり　今　夢みたよ　流れる　この　大地で

KISS をして　生まれた　この世と

果てしない　この　永遠を

ずっと　ずっと　俺は　泣いてないと　叫んでいた

今度は　今度は　君の為だよって　叫んでいた

君が　好きだよ

２、とめどなく　今　泣いたよ　揺れ動く　この　世界で

君に　今　想いを　伝えたい

遥かなる　この　永久を

そうして　そうして　僕はこの生活（くらし）に　慣れて　きたんだ

右足の　靴は　買ったすぐ後に　靴擦れ　したんだ

靴も　伸びてきた

直に　直るだろう

あなた

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 今　あなたを想ってる　それだけで苦しいの
こんなにも好きだから　どこまでも愛してる
１つの幸せに　できるならばなりたい
なんだか照れ笑い　浮かべてた

どうしたら届くの？　どうすれば叶うの？
離れている時　会いたい　触れたい　それだけ
わがままな　愛を　許して

2、 遠い距離　離れてる　手にモノがつかないわ
いつまでも考える　果てしなく消えてゆく
今度の誕生日　何をあげればいいの？
そしたら　遠慮していたけれど

信じてください　儚いこの夢を
笑っていたくて　ずっと　もっと　傍にいて
臆病な　心　抱きしめて

どうしたらいいの？　わからないこの恋
優しい気持ちが　YES と答えてくれたなら
本当に　私　死んでもいいわ！

立川の風

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 ああ　この季節　この景色　この香り
夏が来たね　最高のファンタスティックが
蘇ってくる

ああ　君のこと　想い出し　ここへ来る
懐かしいね　今はどうしてるんだ？
それだけのこと

Uh－　夏の空は　Uh－　夜空を超え
Uh－　僕の声は　Uh－　きっと届く

2、 何もかも　忘れよう　離れ離れ　暮らしても
いい　思い出　ホント　最高の美人だ
それは誇れる

ああ　夏休み　メールして　駆けつけた
店のほうへ　あの頃は若かった
それだけのこと

ああ　本当に　好きだった　大好きだった
愛していた　ずっと心の中で
生き続けるだろう